



うーん
罰ゲームどうしようか…
何かいいのある？

そんなルールあったの?!

お姉ちゃん負け過ぎだから
今決めたの

今日は弟の航と
そのお友達、海くんと
一緒にカードゲームで
遊んでいます

えん

宿題の休憩タイム
という事だったんですが
なんだかどんどん
脱線しちゃってます

じゃあ
仕方ないな…

美人のお姉ちゃんが
一人ファッションショーの
お披露目をしちゃうおう

なんてね

どやっ

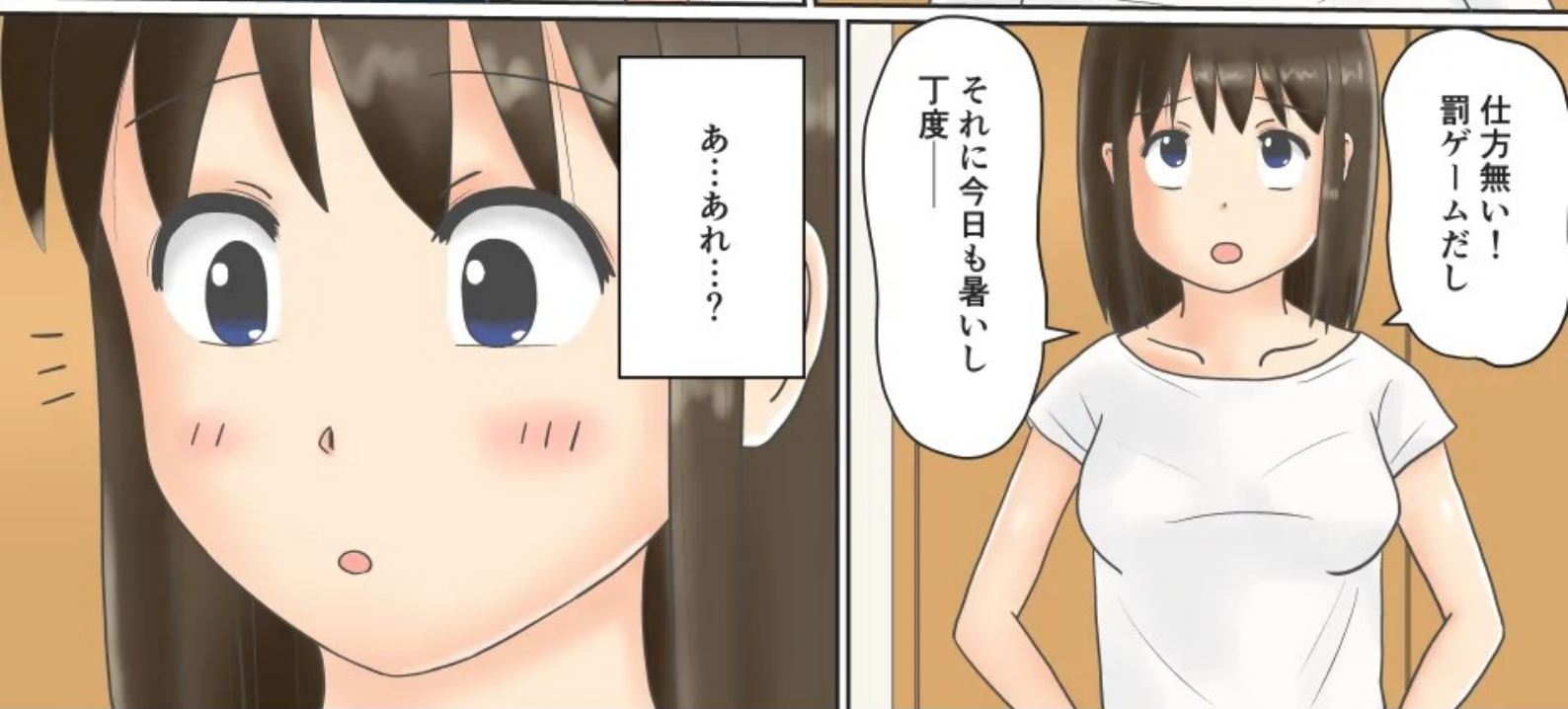
うーん…

おーい

着替えの
罰ゲームなら

水着になる…
とか？

水着?!





確かこの辺に
仕舞っておいた
筈なんだけどなあ

がサ

ゴッ



ゴッ

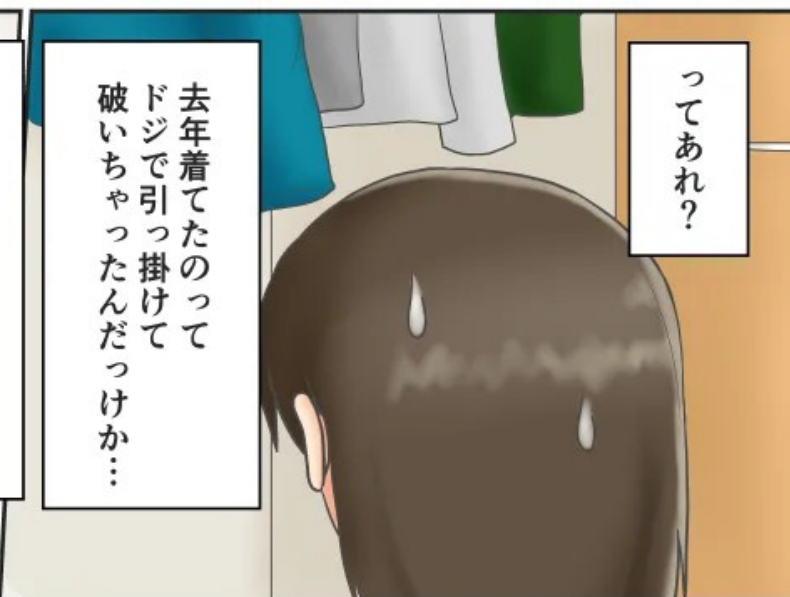
ゴッ

ゴッ
ゴッ



あつ…これは…?
ああ…古いのかあ
まだ処分してなかったんだ

うーん、どうしよう…
すっかり忘れてた…
他に水着なんてあったかな



ってあれ?

去年着てたのって
ドジで引っ掛けて
破いちゃったんだっけか…



ぎゅっ

でも…
もし…これを着て
二人に
見てもらえたら…?
……

二人には理由を言えば
分かってくれるだろうけど

……

…これじゃ
小さ過ぎて
駄目だなあ…
今こんなの
無理に着ちゃったら
ピチピチだし……

お姉ちゃんの

露出体験記②



●登場人物紹介●



佐藤あかり

ちょっとドジでおっちょこちょいなお姉ちゃん
普段は真面目に学生をやっている
ふとした事がきっかけで露出にはまってしまう

佐藤航(こう)

あかりとは姉弟で少し歳の離れた弟
お姉ちゃん思いで優しいところがある
普段、姉の行動には
ハラハラさせられる事が良くある



海(かい)

航の友達

航とは仲が良く一緒に遊んだり勉強したりする仲

～前回のあらすじ～

航との何気ないきっかけから、裸を見られることや露出する事に
快感を覚えてしまったあかり

今まで体験した事のないオナニーまでしてしまい

その世界にはまってしまう

いけない事だと思いつつも

そこから得られる興奮と後ろめたい気持ちから葛藤を抱える事に—
「これから私どうなってしまうんだろう…」

お、お待ちせ

あつ
お姉ちゃん
おかえ…

!!

た、ただいま…

み、水着のサイズが
小さいのしかなくて
肩紐もかからなくてね…

なんだか
こんなのでごめんね…

う、ううん

ドキ

ドキ

私、またこんな事して…
二人を利用してるみたいで…
航に海くんごめんね…

もう夏だし
新しいの買わないとだね
あはは…

でも…二人の視線を
すぐく感じちゃう…

ドキ

ドキ

こ、この格好で
ゲーム続けられ
いいのかな？

う、うん

こ、これやっぱり
動くと水着が引っ張られて
見えちゃいそう…

う、股のともきつい…
アソコがちよっと
はみ出してるっぽい…

お姉ちゃん水着
きつそうだけど…
大丈夫…？

な、なんとか
大丈夫だよ
ありがと…

ぎゅっ

ぐい

お尻とかも
食い込んでるし
恥ずかしい…



なんとか座れたけど…
アソコも水着がかなり
締め付けてきついなあ…

水着少しずらしたら
楽かな…?
テーブルで隠れてて
見えないだろうし

ぎゅっ

…いいよね

ドキ

ドキ

ゴッ
ゴッ

航くんのお姉さん
大胆…

お姉ちゃん…
海もいるのに大丈夫かな…

ドキ

ドキ

ドキ

じゃあ続きやろうか
今度はお姉ちゃんから

水着なんて言わない方が
良かったかな…
なんかドキドキしてきた…

よし今度は
負けないよ

あ…

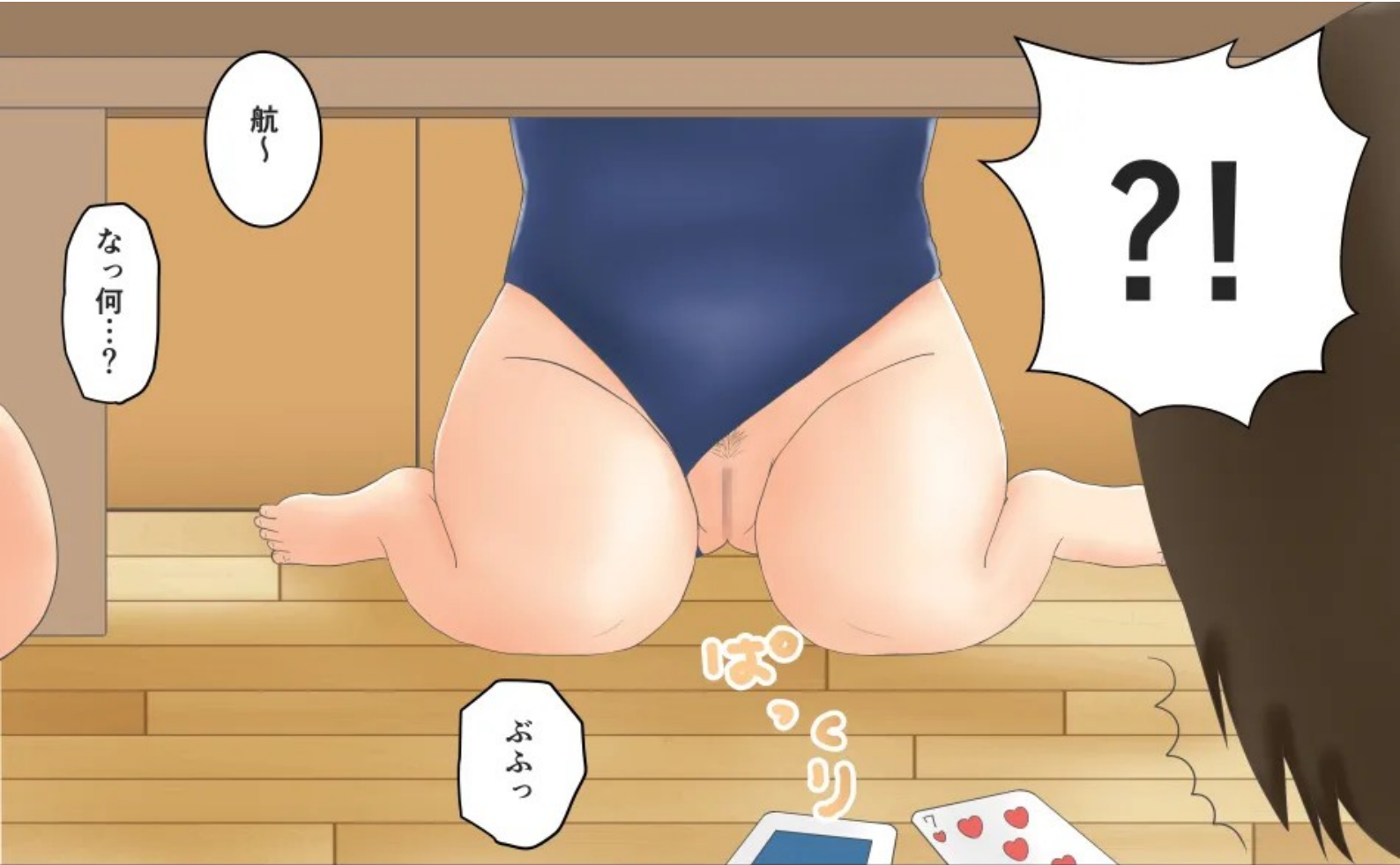
バウ

バウ

海くん
大丈夫?

は、はい

だ、大丈夫です
拾います



そろそろ
勉強もして
もらわないとなあ…

うーん

二人は
まだカード拾ってる…？

不思議な動きしてるけど
どうしたんだろ

なんだか時間かかってるし
私も手伝

あっ！

いいいけない…
さっき水着ずらして
今私…アソコが…

~~~~~  
!!

早く水着を  
直さないといけないのに…  
見られてると思っただけで…

どっどうしよう…  
航だけじゃなくて  
海くんにもで…

もしかして  
二人に私の大切なところ  
見られてた…？

駄目…  
私…また…

ごごめんね  
航くん

う…  
ううん

お姉さんに  
教えてあげた方が  
いいのかな…

うーん…

…でも逆に恥ずかしい  
かもしれないし…

僕女の人のお股って  
初めて…

う…うんそうだよね…  
じゃあなるべく  
見ないように…

駄目っ!!

はあ

はあ

今、見られてる  
見られてるよね…?

むに、

わっ?!

お、お姉ちゃん  
な…何か  
…見えちゃってる…

おま〇こ  
見えちゃう!!

わわわ…  
なんかピンク色が  
見えて…

もっと見て欲しい…  
私の恥ずかしいところ…

ぐいっ

ふる  
ふる

ぴっ

お股から  
何か出てる…？

おしっこじゃ  
ないよね…

これ以上見られてると  
私おかしくなっちゃう

もうイっちゃいそう  
止めないと…

あ、

ゾク  
ゾク  
ドキ

ドキ

変な声出ちゃ…う

航…  
海くん…？

はっはい

お姉さん  
ごめんなさい  
待たせちゃいました

ううん  
大丈夫だよ

お、お姉ちゃん  
続きしようか

う、うん…  
でもこれで最後ね  
宿題もしないと…

うんそうだね

はいっ

よ、よーし  
また勝っちゃうぞー

ドキ  
はあ

ドキ

はあ



また  
やっちゃった…

ちゅぽ

ふう

やっぱりあれって  
二人に  
見られちゃったよね…

二人とも顔真っ赤だったし  
それにおちんち●も……  
って…ああもう…私  
何考えてるんだろう…

ああなっちゃうと  
頭の中真っ白になって  
よくわからなくなっちゃう

ブオー

航に…海くんまで  
一杯見せちゃった…  
思い出すと  
すごい恥ずかしい…

…でも

でも本当は…  
すごく興奮して

もっと…もっと  
見て欲しかったし  
…触ってくれても…  
良かったくらい…

パタン

もう  
何考えてるの私！

ぶん

ぶん

いきそうになったところで  
寸止めだったからかな…

なんだかモヤモヤして  
寝れそうもない…

……  
…もうこんな時間かあ

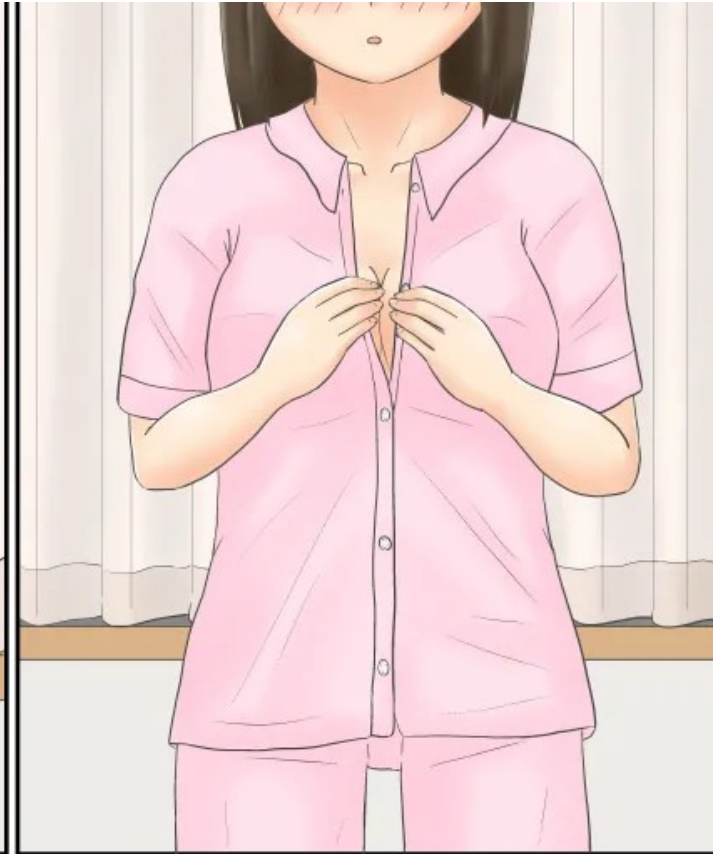


……  
オナニーしてから  
寝ようかな…

あの水着に  
また着替えて…



し  
ゅ  
る



誰かに見られるって  
なんであんなにも  
気持ち良いんだろう

私ほんとに  
どうしちゃったのかな…



ぎゅ

今日は  
しちゃんかな…



ドキ

ドキ

する

ドキ

この水着着たら  
夕方の事思い出して  
またドキドキしてきちゃった…

この格好で…  
廊下…出ちゃおうかな…

航はもう  
寝てるよね…？

わきゃ

ドキ

ぐいっ

航と海くんの視線  
ほんとに気持ち良かった…

二人の前で  
もう全部脱いじやえば  
良かったのに…それで…

…やだ…  
私またおかしくなってきた…

くちゅ

くちゅ

くちゅ

駄目…私何してるの…  
もう部屋に戻らないと…  
でも…気持ち良い…

ごつごめんね…  
こんなHなお姉ちゃんで…

弟の部屋の前で  
オナニーなんて…

はあ  
はあ

もし今、航が起きて  
このドアが開いたら  
…大変な事になっちゃう…

んっ

くちゅ

でも止められないよお…  
いけない事すると感じちゃう…  
Hなところ誰かに見られたい…

こんなにもお股開いて…  
私のおま●こ丸見えだよ…

にちゅ

くちゅ

いやらしい音させちゃってる…  
ドキドキする  
んっ…はあ…はあ…



はあ

はあ

廊下でオナニー  
気持ちイイっ!!

にゅ

くぽ

びくん

あっ

くちゅ

くちゅ

くちゅ

はあ

んっ

びい

もう抑えられないっ!!

ずるっ

水着も全部脱いで...  
裸になっちゃお...

はあ  
はあ

航っ  
海くん良いよ…もっと見て…

ん、

私の大切なところ  
もっと見て欲しい…  
…すごく感じちゃう…

ぐちゃ  
くちゅ

おっぱいも  
おま●こも  
触っても良いよっ

はあ

はあ

私…  
いけない妄想で…  
いっちゃいそ…う…

ごめんね二人とも  
ごめんね…ああっ

はあ  
はあ  
はあ

くちゅ  
くちゅ



駄目っ  
ダメッ  
こんなところで...

航の部屋の前で  
イっちゃう



私廊下で...  
裸でこんな事してるっ

もういきそう  
イっちゃいそう!



航っ海くんっ  
いやらしいお姉ちゃんを  
見てっ見てえっ!!

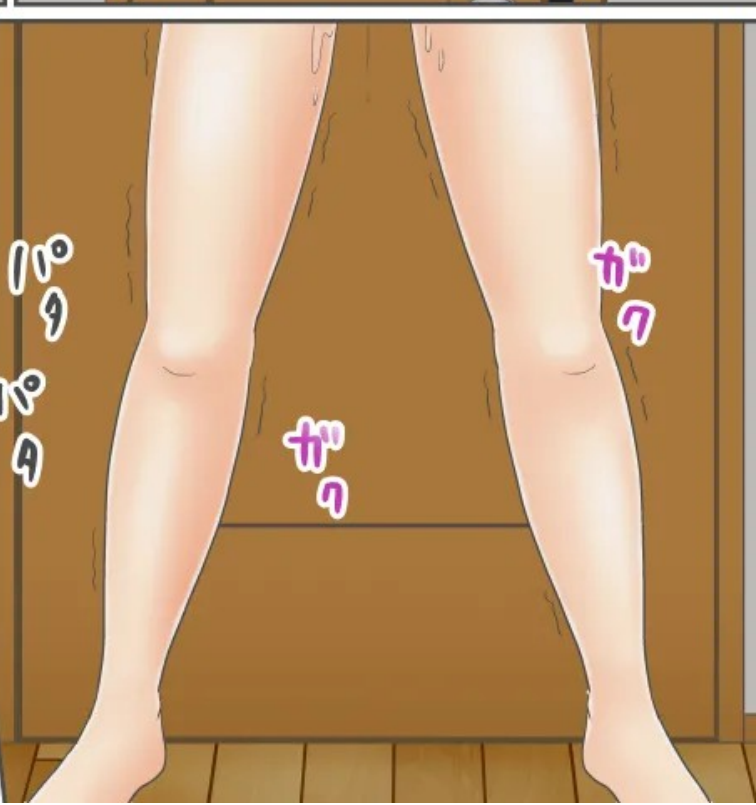
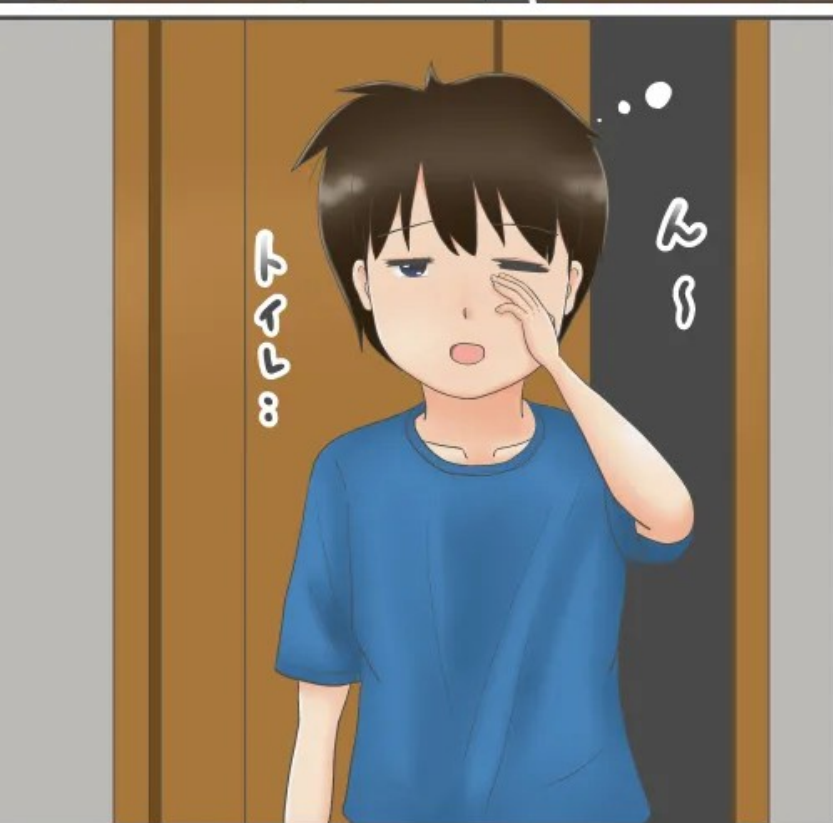
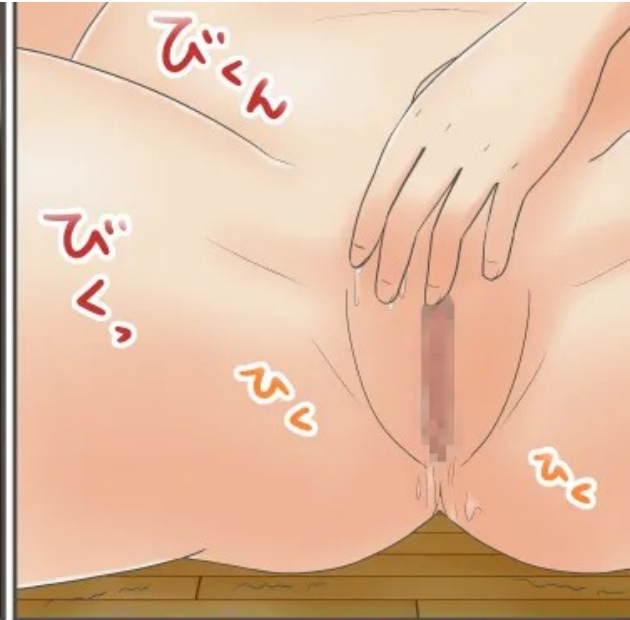
いくっ  
イクうっ

ふあぁっ

びくっ

びくっ

ぽしっ



危なかった…

はあ

はあ

もう少しで航に  
見られちゃうところだった…

もうこんな事…しちゃ駄目…

…でも…でも気持ちよかった…

ぷちゅ

ぷる

ぷる

ドキドキして  
すごいイっちゃった…

見てもらえなくて  
ちよつと残念に  
思ってる自分がある…

この快感から  
抜け出せないよ…

はあ

私もっと  
おかしい事  
考えてしまいそう…



# お姉ちゃんの 露出体験

この度は「お姉ちゃんの露出体験記②」を  
お買い上げ頂きましてありがとうございます！

初のシリーズ物という事で如何だったでしょうか  
もし気に入って頂けたなら続きも描けたら—と思っています。

またご縁があって他の作品にも  
触れて頂ける機会がありましたら幸いです。  
最後まで読んで頂きありがとうございました！

夏色缶詰 なつあめ

この物語はフィクションです。  
登場する人物・団体などの名称は全て架空のものです。  
また無断での転載・複製・公開、違法アップロード等を固く禁じます。  
成人向け作品のため、未成年の方の閲覧は出来ません。